

最優秀は日野・新協電子、青梅・武州工業 多摩ブルー・グリーン賞

多摩地区で活躍する中小企業の優れた技術や製品、ビジネスモデルを表彰する第十三回「多摩ブルー・グリーン賞」(多摩信用金庫主催、東京新聞立川支局など後援)の表彰式が十六日、立川市内で行われた。最優秀賞は、技術・製品部門のブルー賞が新協電子(日野市)、経営部門のグリーン賞が武州工業(青梅市)に決まった。

新協電子は、デジタル業務・防災無線設備向けのアプローチ回線接続機「μVOICOM(マイクロボイコム)」の開発が評価された。都道府県防災システムや津波警報装置、消防・列車無線に使われている。

武州工業は、ミニ設備九台による生産ライン「一個流し生産」が評価された。一人の作業者が材料調達、加工、品質管理、納入管理まで全工程を受け持ち、自立性と責任感が生まれる高い生産性を実現した。

選考委員長の関満博・明星大教授は「多摩の底力を感じた。人口減、高齢化が進む次の時代を牽引する産業が成長しなくてはならず、受賞企業は、まさにそうした企業」と講評した。

その他の受賞企業は以下の通り。



多摩ブルー・グリーン賞受賞企業のみなさん立川市で

【優秀賞】

- 〈ブルー賞〉ウォールナツト(立川市)▽応用技研(清瀬市)▽ニシハラ理工(武蔵村山市)▽日本分析工業(瑞穂町)

- 〈グリーン賞〉エム・ケー(日野市)▽シンフォニー(調布市)

- 【経済産業省関東経済産業局長賞】ニシハラ理工

- 【東京都産業労働局長賞】丸和製作所(昭島市)

【奨励賞】

- 〈ブルー賞〉上島製作所(国立市)▽壁紙革命(多摩市)▽相馬光学(日の出町)▽東京テクノ(町田市)▽日新技研(入間市)▽ワイビーシステム(所沢市)

- 〈グリーン賞〉オーベル(調布市)▽小嶋工務店(小金井市)▽嵯峨野(福生市)▽CSS技術開発(多摩市)▽セレブレディア(立川市)▽タカキ(東大和市)▽チャイルドドライブ(八王子市)▽丸和製作所